

# NPO HandiCap Free

障がい者の方へも人生の喜びを

## 事業提案書



Hideo Watanabe

2017.7.26

## 活動目的と基本方針

- 1) 人としての権利と完全な社会参加、公平性、自立支援  
情報収集分析、セミナー、行政陳情、他  
2020東京パラリンピックに向けた提案
- 2) 障害者専用ポータルサイトの開設運営  
自社ホームページ運営、SNS配信情報管理  
投稿型最新情報配信サイトの開発
- 3) 施設基準の制定、認定制度  
バリアフリー関連機器の基準化、標準化  
既存施設の安全管理基準等の見直し提案
- 4) 自立支援型介助用品の開発と提案  
障害者の個々の個性に合わせた介助用品の開発  
ユニバーサル仕様の生活環境改善用品の開発
- 5) 戦争孤児の救援・貧困国の身体障害者支援  
地域や国レベルで支援が追いつかない戦争地域や  
貧困国における障害者の人権と自立支援活動



## 具体的活動方針

### 1) 人としての権利と完全な社会参加、公平性、自立支援 情報収集分析、セミナー、行政陳情、他 2020東京パラリンピックに向けた提案

大学や専門学校  
のサークル  
に協力依頼

広告代理店関係、  
音楽関係、地域  
商店の協力

- ①現状分析  
日本国内の障害者の生活実態を調査し、関係官庁企業に改善提案。  
国内外のハンディキャップ支援の現状を分析
- ②情報発信  
ホームページやSNSで情報配信、当事者だけでなく関係者にも有用な情報提供
- ③情報共有  
地域や産業別にセミナーを企画、ユニバーサル社会への転換を訴求
- ④行政陳情  
法令に関する提案や国政レベルの提案を、確実なエビデンスのもとに陳情する
- ⑤メディアとの連携  
世代、地域、分野を超えた情報発信。話題性のある企業や人材協力体制づくり  
音楽業界、大学専門、農工業事業（地場産業交流）、ネット配信
- ⑥2020東京パラリンピック事業  
行政民間団体へのバリアフリー化に関するコンサルタント
  - ・事前キャンプ地対応、宿泊施設、移動手段、
  - ・滞在中の総合支援、帰国後の交流
  - ・オフィシャルボランティア外のサポート（買い物、観光等）

例えば我孫子市に提案  
（成田と都内の鉄道中継点）  
通過点を拠点に、雇用拡大の  
チャンス



## 具体的活動方針

### 2) 障害者専用ポータルサイトの開設運営 自社ホームページ運営、SNS配信情報管理 投稿型最新情報配信サイトの開発

当NPOの生命線  
確実な管理と運営システム  
の構築

新鮮なデータと信用性を  
担保する方法を模索

ネット利用者以外の対応手  
段を検討

開催期間だけでなく、その  
後の継続が大切

- ① 自社ホームページ運営  
サーバーインフラ管理、システム管理、個人情報管理  
タイムリーな情報配信と信頼できるデータの提供、
- ② SNS (Facebook / Twitter等)  
世代、地域、用途を超えた、話題のサイトを中心に情報交換サイトを開設  
投稿型で話題性と速報性を追求しながら信頼性とコンプライアンスを遵守
- ③ 個人情報管理と、サーバーメンテナンス  
多くの個人情報が集まることが想定させるので、徹底した情報管理システム  
を構築。運営セキュリティの向上が必須。
- ④ メディア対策  
ネットによる情報配信だけでなく、紙媒体やテレビ媒体等のメディアへも積極的  
に情報を配信し、ネット環境にない障害者への支援も視野に入れる
- ⑤ 2020東京パラリンピック事業
  - ・競技種目情報(ルール、選手紹介、補助器具説明等)、
  - ・競技結果配信(競技者のサイトリンク、競技前後の情報配信)
  - ・参加関係者のサイトリンク(開催前後から継続的なサポート)
  - ・開催に関する意見総評配信(関係者、観戦者投稿)



## 具体的活動方針

### 3) 施設基準の制定、認定制度

#### バリアフリー関連機器の基準化、標準化

#### 既存施設の安全管理基準等の見直し提案

各社勝手な解釈で製品化した場合の責任問題

情報の共有、規格統一  
最新技術の共有の提案

専用機器の開発と開催後に  
継続運用できるユニバーサル機器の開発

#### ①バリアフリー施設設備の基準制定

住宅設備、交通手段、生活用品等の安全レベルや汎用レベルを評価  
企業や行政と連携し、基準適応品に助成金給付等の提案

#### ②介助器具の仕様に関する基準制定 安全基準・標準化とか

各分野の介助器具の開発支援等の助成金提案、企業の枠を超えた基礎部品  
やAIシステムの開発を助成提案

#### ③認定制度の提案

実績や技術レベル、商品レベルを評価して、開発者やメーカー、サービス提供者  
を技術認定するシステムを導入。技術の向上をサポートする。

#### ④法令化

安全性、地域を超えた開発、AIを導入した情報産業など公共性の高いものは  
行政に働きかけて法制化を進める

#### ⑤2020東京パラリンピック事業

- ・国内外から集まる観戦者にも、相当数の障害者が想定できる。宿泊施設や交通機関等の整備、商店や近隣住民対策を基準化して提案
- ・民泊等の新たなシステムと施設の検討。期間中の設備備品等のレンタル事業  
そのほか、関連事業の雇用創出支援



## 具体的活動方針

### 4) 自立支援型介助用品の開発と提案

#### 障害者の個々の個性に合わせた介助用品の開発 ユニバーサル仕様の生活環境改善用品の開発

スマホやAIシステム、情報端末を利用した生活応援システムの開発

- ①新しい補助器具の開発(個性に合わせたカスタムと標準化)  
AI機能を搭載した、一人ひとりの個性に合わせた器具の開発。リアルタイムの情報管理を可能にし、生活活動の全般管理、リハビリ等のIVデータ収集も可能

誰にも喜ばれる機器の開発  
便利だけでなく、安全、安心を提供できるシステム

- ②ユニバーサルデザインの提案  
すべてに人を対象とした生活向上機器の開発。障害者だけでなく、高齢者や幼児年齢や性別、異文化の人たちすべてに共有できる機器の開発と普及

異業種コラボ等推進  
新しい技術の提案  
ジャパンスターダートをつくる

- ③公共性の高い機器の提案  
防災や生命維持、情報配信に関する機器の開発  
交通システムや生活監視システム等の開発(無人運転者の技術を車いすに応用)  
海外の実績を調査導入検討(ロンドンタクシー等)

- ④当事者や関係者からの意見を集めるためのサイト運営や勉強会イベント開催  
表彰制度や特許関連もサポート。一般からアイデア募集コンテストを開催、優秀作品は関連企業に製品化提案。

- ⑤2020東京パラリンピック事業
- ・選手村、競技場、移動施設、
  - ・空港、事前キャンプ地
  - ・競技に使用する補助器具
  - ・関係者、観戦者の障害者設備対応



## 具体的活動方針

### 5) 戦争孤児の救援・貧困国の身体障害者支援 地域や国レベルで支援が追いつかない戦争地域や 貧困国における障害者の人権と自立支援活動

- ① 政府行政主導のNGOのサポート業務  
情報配信、活動報告、国内における義援金や協力企業の誘致
- ② 障害分野NGO連絡会等への参加、共同活動支援  
関連団体との連携、セミナーやイベントを企画し情報配信と募金活動参加
- ③ ネットでの現状報告  
サイトでの情報配信、人権擁護のための問題提起、障害者支援の呼びかけ



## 具体的活動方針

### 6) 参加型イベントの開催

障害者と健常者とのつながりの場所を企画。  
ハンディキャップについて知ってもらう。

- ①ハンディキャップの意味と存在を知ってもらう。  
障害者の存在、その内容、生活環境、意外に近い存在であることを伝える。  
VR(バーチャルリアリティ)を駆使し障害者の現状を伝える
- ②一緒にできること、できないこと、助けられることを体験してもらう  
ボランティア、サポーター等、障害者の方とどのように付き合えるのか
- ③心の壁をなくす。 人としての一体感を持つ 同じ環境を共有する  
共同作業によるものづくりや同行  
ゲームアプリ開発、キャンプ、バンド活動、スポーツ、ライブコンサート、婚活etc  
できないことをあきらめるのではなく、できるようにすることを考える

3D映像、音場開発企業に  
協力依頼

一夫的な情報配信ではなく  
参加型のイベントを企画。  
体験すること、知り合うこ  
とが目的





## NPO活動の継続のために

### 賛助企業(個人)と資金集め

- 1)ハンディキャップフリーのNPOとして活動に賛同してもらい、活動を共にできる仲間を集めること
- 2)NPO活動資金を集めること

- ① 献金集めではなく、活動の趣旨を理解してもらい、どのような形で参加(協力)してもらえるのか具体的に提案する。
- ② 企業団体に向けては、有用な情報配信や社会貢献性、話題性などのメリット  
個人に向けては、ボランティア意識、社会貢献性、視角拡大などを訴求
- ③ 資料発売(独自データ分析結果)、有料セミナー開催、シンポジウム開催、グッズ販売
- ④ イベント企画、商品開発支援、専門分野相談(コンサル)等の事業
- ⑤ クラウドファンディングも検討 (商品販売、イベント開催等)



## おわりに

### ① 活動拠点

現在、表記されている東京事務所はレンタルオフィスだと思えます。  
所在地は東京駅近くで便利ですが、実態としては意味がありません。  
よろしければ、関係している事務所の一角を活動拠点として提供してもらう  
ことも可能です。(場所は東京ドームの近くです)

### ② 実際の業務

いろいろと提案しましたが、すべてを一人で行うことは不可能です。  
多くの業務は大学生や地域ボランティア、企業、個人の方の協力で成り立って  
行きます。本部はそれぞれの円滑な運営運用の管理が主業務となります。  
また、今までの仕事上の取引やプライベートな交流も含め、ほとんどの提案に  
協力を依頼できる、または協力できる方を紹介してもらうチャンネルがあります。  
中には、2020年に向けた具体的な事業を検討している企業もあります。

東京開催まであと3年となり、直接関連している企業はもちろん、間接的に関わる  
企業団体も、この機会に高齢者社会とバリアフリー、ユニバーサル化を模索して  
います。同じようなコンセプトを持ったNPO団体もかなり積極的に活動しています。  
秋に向け、イベント展示会、学園祭、地域イベントも多く企画段階にあります。  
ポータルサイトの開設運営、SNS配信等に合わせて具体的な活動を早急に始める  
ことが求められると思います。





NPO  
**HandiCap Free**